



病児保育だより こばと 秋号



2023.10.01
病児保育室こばと発行

いつの間にか、季節はすっかり秋模様となりました。長袖からちらっと見える小麦色の肌が夏の終わりを感じさせますね。

病児保育室では秋後半～冬にかけて、毎年さまざまな感染症の子が利用しています。中でも、インフルエンザに罹患してしまった時の病児保育室利用方法のお問い合わせが多数寄せられています。そこで今回は、みなさんが気になる秋～冬に流行する感染症への対応策や、インフルエンザ罹患時の病児保育利用についてご紹介いたします。



秋～冬に流行する感染症と対応方法



	インフルエンザ	RSウイルス感染症	溶連菌感染症	マイコプラズマ肺炎
原因	インフルエンザウイルスの感染によって起こる。咳やくしゃみによる飛沫感染、便に排出されるウイルスなどによる接触感染。	RSウイルスの感染によって起こる集団流行しやすい感染症。特に1歳未満の乳児がかかりやすく気管支炎や肺炎を起こす。	A群溶血性連鎖球菌という細菌が原因となる病気の総称。飛沫で感染する。	菌の感染によって起こる異型肺炎ともいわれる肺炎の一種。しつこい咳や頑固な発熱が特徴。9歳以下の感染率が高い。
潜伏期間	1～3日	2～8日	2～4日	2～3週間
主症状	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱 (38℃以上の高熱) ・頭痛 ・関節痛 ・筋肉痛 (特に下肢) <p>※意識障害、脳炎・脳症、肺炎、中耳炎など合併症に注意!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱 ・咳 ・喘鳴 ・鼻水 <p>※気管支炎、肺炎、中耳炎など合併症に注意!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱 ・咽頭、扁桃の発赤、腫れ、痛み ・発疹 (紅斑) ・目の充血 ・イチゴ舌 <p>※舌に赤いポツポツができる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱 ・倦怠感 ・咳 ・発疹 (まれに) <p>※気管支炎、肺炎などの合併症に注意!</p>
対応	出来るだけ医師の診察を早く受け、消化の良いものを摂り、水分補給しましょう。 抗インフルエンザ薬の処方があった時には、医師の指示通りに薬を服用しましょう。	現状、根本的な治療薬はありません。鼻水が出ていたらこまめに吸ったり拭いたりしてください。未熟児・基礎疾患がある場合はRSウイルス抗体 (シナジス) で予防します。	抗生物質で治療を行います。独自の判断での抗生剤の内服は中断した時に、腎臓などに合併症を起こすリスクがあります。独断で薬をやめないようにしましょう。	咳がひどいのが特徴です。熱を測り、その他の全身の症状を正確に観察しましょう。かかりつけ医の指示通りに薬を服用しましょう。

Q. インフルエンザにかかったら、病児保育はいつから利用できるの？



37.5℃以上の時→ 4 8 時間以上経過してから利用可能
未滿の時→ 2 4 時間以上経過してから利用可能



※発熱後1～2日はインフルエンザ脳炎を起こしやすいため、
当病児保育室ではその期間のお預かりはできません。



病児保育でも季節を感じよう！



病児保育では室内でも四季を感じてもらえるように、季節毎に壁の飾りを変えています。施設を利用するお子様も飾りを見たり、触れたりして楽しんでいる様子です！秋にも2種類の飾りを予定しており、期間限定でハロウィンバージョンの壁面を飾る期間もあるので、毎回ご利用時に『今日は何の飾りかな～？』と、ぜひお子様にもお声がけくださいね！



海をテーマに、生き物たちをメインに飾りました
子ども達は、「これは何ていう名前？」と生き物の名前当てゲームをしたり、「壁が夏だね。」と夏を室内でも感じていました。

ちなみに・・・

ハロウィンってなあに？



ハロウィンの起源は、古代ケルト民族が行っていた秋の収穫を祝うとともに悪霊を追い払う宗教儀式「サヴィン祭」であるといわれています。古代ケルトでは11月1日が新年とされており、大晦日である10月31日には先祖の霊が家族に会うために現世に戻って来ると信じられていました。しかし、先祖の霊だけでなく悪霊も一緒にやってきて悪さをすると考えられていたため、サヴィン祭では仮装や焚き火を行い、悪霊を追い払っていたと伝えられています。

ハロウィンの楽しみ方

お化けや怪物などに仮装する かぼちゃのランタンを飾る

ハロウィンは、お化けや怪物に仮装をして楽しむ風習があります。先祖の霊と一緒に帰ってくる悪霊を怖がらせて追い払うためです。

ハロウィンのシンボルといえば、かぼちゃを怖い顔にくり抜いて中にキャンドルを灯したランタン！怖い顔をしたランタンは、「ジャックオーランタン」という名称で、魔除けの役割を持つと言われていています。

トリック・オア・トリートと声をかける

仮装をした子どもたちが家を訪ねて回って、「トリック・オア・トリート（お菓子をくれなきゃいたずらしちゃうぞ）」と声をかけながら玄関先でお菓子をねだる風習が、名物となっています。ハロウィンで配るお菓子には、魔除けの意味合いが込められています。



7～9月に利用の多かった病気

- 1位：急性上気道炎
- 2位：アデノウイルス感染症
- 3位：急性胃腸炎



病児保育室こぼと
(小鳩保育園 南本町 併設)
〒336-0018
埼玉県さいたま市南区南本町2-22-2
TEL：048-832-9299
FAX：048-833-5850
お気軽にお電話にて
お問い合わせください